

研究開発課題別中間評価結果

1. 研究開発課題名：スローライト構造体を利用した非機械式ハイレゾ光レーダーの開発
2. 研究代表者：馬場 俊彦（横浜国立大学 大学院工学研究院 教授）
プログラムマネージャー：小林 功郎（科学技術振興機構）
3. 中間評価結果

本研究開発課題は、スローライト技術の応用として機械的に動く部分がない高分解能（ハイレゾ）な光偏向器を開発し、それをコア技術とするモジュールを試作し、光レーダーに必要な機能や性能の実証に向けた研究開発を進めている。

光偏向器の改良や要素部品の開発等により、光出力、偏向角の向上や解像点の増大を達成した。また、並行してシステム開発を進め、光レーダーによる測距画像取得や 3D イメージ画像取得を実証しつつある。このように各参画研究機関が連携しながら研究開発を積極的に進め、競合他方式をしのぐ光レーダーの諸特性が得られていることは評価できる。

社会実装に向けては、光レーダー研究会を発足させるなど本課題の情報発信を図るとともに、多くの企業との連携を開始している。そのなかで、この分野の競合相手の開発スピードに遅れることなく本研究開発の技術優位性を十分に発揮できるような実用化を進めるために、企業との連携をさらに加速するマネジメントが必要である。

ACCEL 後半では、研究開発マネジメント体制の更なる強化を進めていただき、ビジネス的成果の最大化に向けて注力すべき研究開発項目を設定し研究開発を推進することで、事業化に向けた成果の橋渡しを加速していただきたい。

以上

ACCEL 研究開発運営委員会
委員長 松本 洋一郎